

1 人間は三層からなる存在である

サーカー 人間の三層論

私たちが人を見る時、まず、姿・形が目に入ります。接してみるとその人の感情や心が伝わります。しかし、それだけでなく私たちはその人の人間性や精神性のレベルがあることに気づきます。だから、人間は三層からなります。第一層の肉体、第二層の感情や心に対して、第三層として精神性（スピリチュアリティ）が実際にあることを見いだします。

サーカー 人間の三層論

サーカーは、人間存在は、物的身体的 physical 層, 知的心理的 psychic 層, 精神性（スピリット spiritual）の層の3つの層が交差するところにあると考えます。physical は、物的身体的な世界をさします。psychic は、intellect や mental、mind と同じ意味を持たせて使っていますが、知的心理的な世界のことです。

近代西洋哲学は、物的身体的 physical 層, 知的心理的 psychic 層についてのみ考察しました。サーカーの哲学は、生命進化の過程で、物的身体領域の発達の中で心理領域が平行して発達して、スピリット（精神性）の層まで届く人間存在が出現してきたとする点で、近代の唯物論と共通するものを持っています。

言い方を変えると物的宇宙から出発して動植物など生命存在の誕生と進化があり、その進化の中で人間が登場してきたととらえます。したがって、この側面では、通常の近代的唯物論科学と同一です。しかし、物的宇宙は、無属性のプルシャ（意識）にプラクリティ（形質付与力）が影響して登場してきたと考えます。属性のない意識だけの段階（ニルグナ・ブラフマ）から誕生した宇宙が、人間において属性のない意識だけの段階に回帰する旅をしているととらえます。したがってサーカーのワンネス哲学は、唯物論と客観的観念論を「含んで超える」壮大な哲学構想となっています。

サーカーの小宇宙（ミクロ・コスモス）論

<http://www12.ocn.ne.jp/~kitsumi/theory/tetsugaku/shouuchuron.html>

サーカーの大宇宙（マクロ・コスモス）論（前編）

<http://www12.ocn.ne.jp/~kitsumi/theory/tetsugaku/daiuchuronzenhen.html>

サーカーの大宇宙（マクロ・コスモス）論（後編）

<http://www12.ocn.ne.jp/~kitsumi/theory/tetsugaku/daiuchuronkouhen.html>

サーカーの『私』とは何か」論

<http://www12.ocn.ne.jp/~kitsumi/theory/tetsugaku/watashi towananika.html>